

平成19年第4回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	2番	大塚あかね (60分)	<p>1 「羽村市の歌」「羽村市イメージソング」「羽村体操」の活用について</p> <p>(1) 「羽村市の歌」「羽村市イメージソング」について</p> <p>①制作費、その後の広報などに要した金額は。</p> <p>②市民へのPR、認知度を高める考えはあるのか。</p> <p>③市主催の行事などで使用しない理由は何か。</p> <p>④市内小中学校の行事で使用されないことについて、どのように考えているか。</p> <p>⑤テレビ羽村のオープニング、エンディングで使用するなど、活用してはどうか。</p> <p>⑥JR羽村駅で電車の発着時の音楽に使用してはどうか。</p> <p>(2) 「羽村体操」について</p> <p>①制作費、その後の広報に要した金額は。</p> <p>②市民体育祭において使わなくなった理由は何か。</p> <p>③今後、有効活用する考えはあるのか。</p> <p>2 「男女共同参画社会」に対する取り組みについて</p> <p>(1) 条例制定に際し、意見公募を行ったが、どのように活かされたのか。</p> <p>(2) 羽村市役所におけるポジティブアクションの導入について</p> <p>①女性職員の登用推進について</p> <p>②男性職員の育児休業・介護休業取得について</p> <p>(3) 「あらゆる分野における男女共同参画の推進」について</p> <p>①男性対象の家事・育児・介護の講座の開催をするべきではないか。</p> <p>②行政委員会・審議会における女性委員の登用はどうなっているのか。</p> <p>(4) 市内企業に向けての支援策について</p> <p>(5) 苦情処理機関の明確化・監視のあり方について</p> <p>(6) 条例改正の予定について</p> <p>3 スポーツセンターに設置されているジムマシーンについて</p> <p>(1) 定期的な点検は行われているか。</p> <p>(2) 器具は計画的に買い替えを行うべきではないか。</p>	9月4日
2人目	6番	小宮國暉 (60分)	<p>1 児童生徒の学力向上対策について</p> <p>(1) 学力テストとはどのような企画なのか。</p> <p>(2) 学力向上にむけた対策について検討をされたか。</p> <p>2 行財政改革における、民間の活力導入状況につ</p>	9月4日

3 人目

12 番

中 根 康 雄
(60 分)

いて

- (1) 現在、民間の活力を導入した施設と直営施設には、どのようなものがあるか。
- (2) 「テレビはむら」(部署)、図書館、ゆとろぎ、スポーツセンター、動物公園、富士見斎場、コミュニティセンターについて、直営でなく民間の活力を導入することについて検討がなされているか。検討しているなら、その手法はどのようなものか。
- (3) 検討している施設、または、事業について
 - ① その時期が明確になっているか。
 - ② 経費節減の見込み額は。
- (4) 公共施設の維持管理についての取り組みは。
- (5) 公共施設の整備自体に、民間財を活用することについての取り組みは。

3 わかりやすい財政情報の公開について

- (1) 現在の財政情報として公開しているものは、どのようなものがあるか。
- (2) 市のバランスシート(貸借対照表)について
 - ① 市ではいつから作成しているのか。
 - ② 内容はどんなものか。
 - ③ 市民への公開はどのようにしているか。
 - ④ 今後はどのようにになるのか。
- (3) 市民にわかりやすい財政情報の公開を、いつから、どのようなもので、どのような手段で実施していくのか。
- (4) 3年先、5年先を見据えた財政計画を立てることが重要と考えるが、市長は財政運営の基本をどのような点に置くのか伺う。

4 羽村堰上流の多摩川に、郷土博物館と雨乞い街道を結ぶ、歩行者専用の橋を。

1 市内小中学校の学力アップについて

- (1) 学力テストの結果を受け、市長及び教育長はどう責任を感じ、今後どのように対応していく考えか。
- (2) 学力アップ、マナーの向上は至上課題と思うが、具体的にどのように対応をする考えか。
- (3) 2学期制になっても、教員は忙しすぎると聞くが、何がそんなに忙しくて授業や指導に専念できないのか。
- (4) 市内の学校で、夏休み期間を含む就学日や給食実施日が異なると聞くが、その実態と理由は何故か。また、その事による影響をどう考えているか。
- (5) 市の行事や大会に積極的に参加する学校と、しない学校が見られるが、この原因は何と考えるか。
- (6) 理不尽な親のクレームに対する態勢は万全か。

2 新潟県中越沖地震に関連して

- (1) 羽村市がとった支援対応は如何に。

9 月 4 日

4人目	17番	川崎明夫 (40分)	<p>(2) 応急危険度判定員は随行したか。</p> <p>(3) 被災地の報告を受け、羽村市の地震に対する対策と対応は、今まで通りで良いと考えるか。</p> <p>(4) 今回も無筋の組積造の塀が多く倒壊した。市内の組積造の塀・落下物へのその後の調査と具体的な対策をどうしたか。</p> <p>1 障害福祉計画の推進について</p> <p>(1) 障害者自立支援法の施行に伴い、市町村に「障害福祉計画」の策定が義務付けられた。新たに取り組む事業として「就労移行支援」・「就労継続支援」事業が計画されている。具体的な施策はどの程度進んでいるのか。</p> <p>(2) 障害者自立支援法で位置付けられた「就労移行支援」だけで十分に出来るのか。この事業の実施主体や、実施年次、規模は。</p> <p>(3) 今後の障害者福祉施設の経営をどのように考えているか。</p> <p>(4) 地域活動支援センター「ハッピーウィング」の利用状況や活動内容はどのようなものか。利用についてのPRと、今後の見通しは。</p>	9月4日
5人目	4番	橋本弘山 (60分)	<p>1 「三位一体改革」による税源移譲後の市都民税の納付方法について</p> <p>(1) 滞納を少なくするための納付方法について</p> <p>① 普通徴収の年4回の納付期間の細分化が出来ないものか。</p> <p>② 特別徴収の弾力的運用はどこまで可能か。</p> <p>2 AED（自動対外式除細動器）の設置状況は</p> <p>(1) これからの導入予定と講習の予定は。</p> <p>① 各種団体、個人への講習、取り扱いの訓練状況は。</p> <p>② 羽村駅、小作駅構内に設置する予定は。</p> <p>③ 「はむらん」に常備する予定は。</p> <p>3 災害時の簡易トイレについて</p> <p>(1) 現在の組み立て式簡易トイレの保有数と保管場所は。</p> <p>① 現在の「和式」方式を「洋式」に変更する対策は。</p> <p>② 下水道のマンホールに直接設置が可能な簡易トイレの導入予定は。</p>	9月4日
6人目	13番	船木良教 (60分)	<p>1 羽村市の合併論について</p> <p>(1) 地方権の受け皿論として、行政経営の単位・政治参加の単位として羽村市は、「小規模からの脱皮」は避けて通れないものとするのか。</p> <p>(2) 行財政効率化のために、羽村市では「合併を促進すべき」と考えるのか。</p> <p>(3) 都市経営の観点から、都市機能を十分発揮で</p>	9月4日

- きる「適正規模」について考えはいかがか。
- (4) 広域行政サービスを類型化すると、制度疲労・利害調整の域に達し限界が感じ取れる。中長期的な視点から、行政区域を越え政治や行政を一緒に行う「政策連携につなげるのは合併しかない」と考えるがいかがか。
 - (5) 合併について、「広義」・「狭義」の課題はいかがか。
 - (6) 合併効果を生み出すためには、議会も含めて市行政全体で法務や法制執務の人材育成などのシステムを考え、法制機能を向上させることが不可欠と考えるが、市長はどのように考えるか。
 - (7) 羽村市の全体像を他市町と比較するとともに、個別サービスごとに現状を把握する調査研究は合併の大前提である。統計分析や定住分析・定量分析等、専門的に所管する「合併推進特命部局」は必須と考えるがいかがか。
 - (8) 横田基地軍民共有化も含め、道路政策、産業振興政策、合併の目標など明確に示す広域行政のグランドデザインである「新都市建設計画を策定するための研究会」を周辺自治体と連携し設置する考えはいかがか。

2 地域力の向上を目指す文化政策について

- (1) 羽村市の文化行政の歩みはいかがか。
- (2) 「行政の文化化」について、考え方と実践についていかがか。
- (3) 町内会等で実施している文化祭、文化協会の活動、芸術等々、市民文化の醸成と公共の連関について、考えはいかがか。
- (4) 文化・芸術・産業など羽村市・周辺（多摩地域）の歴史教育は、自ら考える重要な要素がある。学校教育での取り組みはいかがか。
- (5) 行政の意思決定プロセスや実現目標を示す「文化芸術基本方針・基本計画」は生涯学習と文化芸術の違い、行政の担う領域、社会構造や重なっている領域、目標など文化政策の全体像とアプローチを明確に示すことが第一義的であり、文化振興と生涯学習振興の関係が明確となる。生涯学習施設ゆとりぎの運営の向上に繋がる考えはいかがか。
- (6) 文化政策の法的基盤となる仮称「文化芸術振興基本条例」などの条例制定についてはいかがか。
- (7) 羽村市を中心に、西多摩地域を対象とした「地域検定」は、地域個性文化を掘り起こし、地域学を醸成し、地域の一体感を生む有益手段と考えるがいかがか。
- (8) 羽村市をはじめとする西多摩地域の文化や芸術、産業や環境、歴史など、学際的、学術的観点から地域学を研究・発信する「西多摩学会」を、市町村合併等の観点からも設立すべきと考えるがいかがか。

1 学校図書館巡回司書の更なる充実について

- (1) 新たな学校図書館巡回司書の配置による効果について伺う。
- (2) 巡回司書の現状と充実について
週 1 回、1 日 4 時間の配置では足りないと考え
るがいかがか伺う。
- (3) 「読書活動連絡協議会」での情報交換について
関係者の情報交換の場である連絡協議会が
年 2 回では少ないと思うが、市の考えを伺う。
- (4) 学校図書館にパソコン（図書システム）が設
置されているのは、小作台小、西小、富士見小
のみとなっているが、市立の小中学校全校に行
き渡る計画を考えているか伺う。

**2 安心・安全のためのメール配信「テレモ自治体
情報 羽村市サイト」の機能充実について**

- (1) メール配信はいつ始まって、どういう広報を
して、現在何人登録されているか伺う。
- (2) 提言書の中の「情報伝達についての仕組みづ
くり」について
不審者情報は、ボランティアの方を含むメー
ル配信登録者への発信元は、どの部署から配信
されるか伺う。
- (3) 提言書の中の「緊急情報の発信・伝達に関す
るルールづくり」について
市民にとって一番関心の高い情報である「犯
罪、事件発生等の・・・発信について一定のル
ールを設け」とあるが、いつルールを設け、い
つ発信されるのか伺う。
- (4) 「事件の解決に関する情報」について
未解決の事件を発信した場合、事件が解決し
た時点で結果を発信することが望ましいと思
うが、方向性を伺う。
- (5) 現在防災無線で流している情報は、マイク
の音が聞き取りにくい地域や、聴力に障害のある
方にも配慮し、同じ情報はすべてメール配信で
流すことはできないか伺う。

**3 引き取り手のいない放置自転車で国際貢献す
ることについて**

- (1) 市内の各駐輪場に現在放置されている自転車
の占める割合について伺う。
- (2) 年間千台以上の引き取り手のいない放置自転
車が、鉄くずとして廃棄されている現状につ
いて、市の考えを伺う。
- (3) 市として国際貢献するために、引き取り手
のいない放置自転車の一部をアフリカに贈るこ
とについて
エチオピア農民支援の NPO 法人代表者と話し
した際、「もし羽村市で贈与をする場合は、必
要であれば、運賃以外のできることはすべて
応援します」と云われているが、市長の考えを伺う。

8 人目

18 番

中 原 雅 之
(60 分)

1 学校教育の充実を

- (1) 一斉学力テストについての教育長の見解と、教育の充実についての今後のとりくみについてうかがいたい。
- (2) 教育環境の整備のため、次の各項目について積極的に取り組むべきと思うがどうか。
 - ①少人数学級の実施
 - ②学習サポーターの増員
 - ③学校図書室への司書の配備の充実
 - ④特別支援学級、通級指導学級の拡充
 - ⑤校舎、体育館などの整備促進

9 月 5 日

9 人目

14 番

露 木 諒 一
(60 分)

1 電子自治体について

- (1) 総務省は 2010 年までに便利・効率・活力を実感できる「新電子自治体推進指針」を策定したが、当市の進捗状況は。
- (2) セキュリティ対策について
 - ①コンピュータウイルスや不正アクセスなどの被害が増大しているが、セキュリティ対策は。
 - ②ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)適合性評価制度の認証制度について。
- (3) CIO(最高情報責任者)を補佐する外部専門家も含めた CIO 補佐官を登用する考えはないか。
- (4) 利便性について
 - ①公的個人認証カードである住基カードの利用範囲の拡大を図るべきと考えるが。
 - ②証明書自動交付機や証明書の受け取り窓口の設置を駅やコンビニエンスストアなど住民が立ちよりやすい施設におけるようにならないか。
 - ③三重県玉城町では 12 の税や料金をクレジットカードで払えるようになった。当市においての民間企業とのオンラインサービスの取り組みは。

2 介護予防について

- (1) 特定高齢者(基本健康診査等において、介護保険の認定者となる可能性が高いと特定された 65 歳以上の高齢者)の現状と介護予防に参加されている人はどのくらいか。
- (2) 一般高齢者施策として、介護予防リーダー育成事業・介護予防普及啓発事業等に取り組んでいるが、現状と今後について。
- (3) 歩いて通える身近な介護予防拠点を、各中学校区に少なくとも 1 ヶ所は整備していくことは重要であると考えますが、見解を伺う。
- (4) 「地域包括支援センター」の保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーが配置された 3 職種によるチームアプローチが重要になるが、活動と連携について。

9 月 5 日

10 人目	7 番	馳 平 耕 三 (40 分)	<p>(5) 高齢者などから権利擁護にかかわる相談、特に虐待に関する通報や相談について。</p> <p>1 税負担が増えた今こそ徹底した行財政改革を</p> <p>(1) 羽村市は全国の市の中で財政健全度は何位かまた、この順位はここ数年でよくなっているか。</p> <p>(2) 羽村市の市債総残高は 125 億 9,874 万 7 千円あるが、羽村市はこの市債残高を、何年で、どれくらい減らす計画があるか。</p> <p>(3) 足立区のように包括予算制度の仕組みを取り入れた行財政改革を推進する考えは無いか。</p> <p>(4) 各部局に枠配分方式を取り入れる必要があると考えるが、市の考えは。</p> <p>(5) 東京都が行っている新会計制度への移行を、羽村市では検討しているか。</p> <p>(6) 人件費・物件費・委託費は、この 10 年で、何%改善されたか。</p> <p>(7) 入札制度改革に、コンストラクションマネジメントを導入する考えはないか。</p>	9 月 5 日
11 人目	5 番	山 崎 陽 一 (60 分)	<p>1 「西口区画整理」の矛盾について</p> <p>(1) 1.43 は地区内の効果と聞こえたが、調査の結果、地区内の効果は 0.49 にとどまり、周辺地区を合算して 1.43 となっていた。このことを承知していたのなら、執行機関としては、市民への分かりやすい説明と言う点での確性を欠いている。なぜか。取り寄せた資料によると、地区内の地価は事業前に比べ、事業後が 1.9 倍となっている。一方、本事業の事業計画書には、事業前の土地価格と事業後の土地価格の比（増進率）が 1.3 としてある。この違いは何から来るのか。</p> <p>(2) 地区内計画道路の便益で、新奥多摩街道に平行する福 7・5・1 号線は 0.21 と算出されているが、道幅 15m にしてもこの程度の便益なら、既存の道路を活用して税金を節約し、その用途を他に向ける方が、市民の幸せにつながると考えるが如何か。</p> <p>(3) 「モノレールが来ないことは想定していない」とのことであるが、それならば前の議会でも要求したが、モノレール招致による費用対効果や経済効果などその計算根拠も含め数値で示されたい。さらに事業完成までに招致できなかった場合、地権者の犠牲のもとで土地が手当てされている重大性から、事業完成までに招致出来なかった場合の責任のとり方を明確にされたい。</p> <p>(4) 今年 11 月に仮換地案の個人説明会を行う予定と聞いたが、「白紙撤回」の立場から反対する。仮に実施予定なら、誰が何処でどのような</p>	9 月 5 日

12 人目

15 番

門 間 淑 子
(50 分)

に行うのか、その方法や手段を問う。尚、従来は供覧と言う言葉を使用していたが、今回の個人説明とは同じと考えて良いか。

(5) 市長は「日々の生活を営む市民の皆様の幸せを職務遂行の基本とする」と答弁した。この6月から7月にかけて、取り上げられる私道の測量を拒否すると通告した複数の地権者に対してまで測量を強行し、納得出来ない住民の要請で警官が駆けつけたと聞く。市長は職員にそうした強圧的行動を指導しているのか伺いたい。また平穏だった生活の基盤を根底から崩される区画整理に、心身を患い、疲労困憊している人が存在する現実から目を背けているように感じる。市長の理念は矛盾しているのではないか。見解を問う。

2 羽村市の長期総合計画について

(1) 市長は「西口区画整理は最重点課題」と表明した。他の49事業と重みは異なるのか。

(2) 5つの基本目標別の一般財源の配分金額を今年度から平成23年度まで数値で提示願いたい。

(3) 現在「都市計画マスタープラン」の見直しが行われている。都市計画法に「基本方針を定めるときは公聴会などを聞き、住民の意見を反映させる」とある。公聴会は開かれるのか。尚、都市計画マスタープラン地区別懇談会での意見や提案などの記録を、出席者に配布することは勿論、全市民にも積極的に知らせ、意見を計画に反映されるプロセスを公開し、知ってもらうのが市民参加のあり方と思うが、見解を問う。

(4) 平成17年度決算カードによると、実質債務残高比率が330%と、「西口区画整理事業」の負担がない時に比べ、若者への借金の負担が3倍となっている。東京都の他市と比較した実質債務残高比率は一番高いのではと考えるがいかがか。少子高齢化で福祉や教育関係の財源の確保に知恵をしばらねばならぬ時期に、区画整理への多額の出費は問題と思うので、市長の見解を問う。

1 保育施策の充実を

(1) 最新データで、年齢毎の待機児数は、それぞれ何名か。

(2) 待機児解消のために、どのような対策を進めてきたか。

(3) 障がいの軽重にかかわらず、受け入れられているか。

(4) 幼保一元への研究がなされたが、どのような結論が得られたか。

(5) 公立保育園一園で0歳児保育が未実施だが、早急に実施すべきではないか。

9月5日

13 人目

16 番

市 川 英 子
(60 分)

(6) 保育料の値上げはせずに、さらに認可外保育施設の利用者には、利用料金の補助を始めるべきと考えるが、市長の見解を問う。

2 総合防災訓練について

- (1) 東京都・昭島市・福生市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町合同総合防災訓練の実施は、どのように決定されたか。
- (2) 横田基地周辺市町基地対策連絡会の自治体が対象となったのは何故か。
- (3) 今回のような基地周辺地区での総合訓練は、今後も実施されるのか。

1 学校給食費未納対策については、教育的観点を中心に据えた対応を。また、個々の生活実態にあった対応を。

- (1) 学校給食検討委員会では現在、主に「給食費の未納」問題について意見の交換が行われている。未納対策として、給食の停止、選択制の前払いで未納がある場合は弁当持参、支払い能力があるのに支払わないものに対しては、法的手段に訴える等が提案されているが「給食の停止」「法的手段」など教育現場にふさわしくないものは実施すべきではないと考えるがどうか。
- (2) 現在滞納を減らそうと、教育委員会や給食組合では日々努力が重ねられている。学校長も先頭にたち支払いのお願いに地域に出向いている。これら今まで実施してきたことは、義務教育、学校としての教育的側面を大事にしながら進められてきた。いままでのやり方を地道に繰り返し進めるべきと考えるがどうか。
- (3) 三多摩地域の各自治体の滞納状況はどのようになっているか。
- (4) 就学援助は所得の関係で受けられないが、生活実態は大変で払いたくても払えないという家庭もあると思うがどうか。
- (5) 給食費がどうしても払えない場合、相談窓口を学校ではなく、他の窓口に変えられないか。学校長が税金徴収と同じようなことをするのは無理がある。給食費を公費会計にすることも検討してはどうか。

2 羽村駅西口区画整理事業について

- (1) 地権者全員の仮換地案を関係者全員に公表するべきと思うがどうか。
- (2) 仮換地案に納得がいけない場合、変更はできるのか。
- (3) 駅前広場に係る地権者全員の合意はとれたのか。
- (4) 駅舎建設の進捗状況はどうか。

3 後期高齢者医療制度について

- (1) 基本健康診査は、市の責任で今まで同様、

9 月 5 日

14 人目

8 番

石 居 尚 郎
(60 分)

- 無料にすべきと考えるが市の考えはどうか。
- (2) 後期高齢者医療制度についての市民への周知徹底はどのようにされたのか。
 - (3) 後期高齢者医療の保険料は減免制度を充実させるべきと思うが市の考えを伺う。
 - (4) 資格証明書の発行はすべきではないと思うがどうか。
 - (5) 特定健康診査を実施するにあたり担当課ではどのような準備が進められているのか。
 - (6) 基本健康診査がなくなり、特定健康診査へ変わると市の予算はどのように変わるのか。
 - (7) 健康教育事業、健康相談といった保健事業はどのようになるのか。

9 月 6 日

1 「いざという時」に対応できる地域防災計画の見直しを

- (1) 今回の見直しは、こういった方向性で、何に力点を置いて見直すのか。
- (2) 避難所は、現在では羽村市の小中学校 10 箇所である。たとえば都立の羽村高校を新たに加えるなど、必要に応じて増やす考えはあるか。
- (3) 避難所での生活が困難とされる災害要援護者が避難する二次避難所は福祉センターなど現在 5 箇所である。その耐震対策は行われているか。二次避難所の地域バランス、数は適切と考えるか。
- (4) 避難所の環境整備について、組織体制、連携、備品等どのように考えているか。
- (5) 現行の備品物資では、充分とは言えないと思う。備蓄倉庫に保管している備蓄物資の見直しはするのか。
- (6) 災害時の要援護者支援体制はどのように充実強化していくのか。
- (7) 外国人被災者が情報弱者とならないための支援体制はどのように取り組むのか。
- (8) 災害時における、情報の整理、支援物資などの物の整理、またボランティアの受け入れなどの人の受け入れ体制は、どのように見直すのか。
- (9) ボランティアコーディネーターの養成をどのように取り組んでいくのか。
- (10) 今回の中越沖地震に際しても、羽村市は緊急災害救援物資を搬送し、被災地において援助を行ってきた。災害発生直後に現地に行き、その経験が具体的にどのように地域防災計画に生かされていくか。

2 障害者就労支援の強化充実を

- (1) 就労支援の強化にあたりどのように取り組んでいくのか。
- (2) 市内に障害者就労支援のための相談センターの開設についての考えは。
- (3) 福祉部と雇用を促進する機関との連携につ

15 人目

1 番

鈴木拓也
(60 分)

いての今後の取り組みは。
(4) 一般就職後のアフターフォロー体制の仕組みづくりをどのように作りあげていくのか。

1 保育料の値上げストップを

- (1) 「保育料の適正化」とは値上げをおこなう計画のことなのか。
- (2) 保育料審議会の開催、条例の改正など、「保育料の適正化」にむけた具体的スケジュールは決まっているのか。
- (3) 少子化克服がきわめて重要になっているもと、保育料の値上げはおこなうべきでないと考えるがどうか。

2 学童クラブの増設にむけて努力を

- (1) 学童クラブの待機児の現状はどうか。
- (2) 学童クラブの増設についての検討・具体化はどこまですすんでいるか。
- (3) 「実施計画」では、待機児数の成果目標を平成 20 年度に 30 名、21 年度に 0 名としているが、その見通しはどうか。
- (4) 計画を前倒しし、一刻も早く学童クラブの増設をおこなうべきと考えるがどうか。

3 公共施設や公園のトイレが「だれでもトイレ」になるよう整備を

- (1) 市の公共施設、公園などへの障害者用トイレ、ベビーシート・ベビーチェア、オストメイト対応機器等の設置状況はどうなっているか。
- (2) 今後、どのように改善を図っていく考えか。

4 住民税の負担が大幅に増える市民に減免制度の創設を

- (1) 前年とくらべ今年度の収入が大幅に減った市民を対象に、住民税の減免制度を設ける必要があると考えるがどうか。
- (2) 07 年の所得税がゼロとなる人を対象にした救済措置の周知徹底が必要である。市はどのような対応を考えているのか。

9 月 6 日